

第145回（平成21年度第5回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成21年12月22日（火） 19：07～20：41
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第4研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事： （副会長）野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）上田 英之、木村 徳善、菊地富士夫
（理事）徳本 進、金子 理人、吉野 大成、荻野 恭宏、安藤 努、
百海 廷、国島みどり、岡本 洋一、小池 光、斎藤 幸雄、
吉岡 去私
欠席理事： （会長）河野 太郎
（常務理事）三塚 康雄
（理事）清水 忠、岡田 良平、平賀 淳夫、大澤 康之
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 徳本 進理事、岡本 洋一理事を選出
7. 書記： 守谷 紀幸広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部（第145回理事会 競技本部）

(1) 報告事項

①ノルディック南関東ブロック大会ドローについて

菊地本部長より、ノルディック南関東ブロック大会のドローが12月5日開催されたとの報告があり、了承された。

②第8回チャレンジカップ第1戦鹿沢大会について

菊地本部長より、チャレンジカップ第1戦が鹿沢スノーエリアで、12月18日～20日に開催され、延べ188人の参加者があったと報告があり、了承された。

③モバイルシステム試験運用開始について

菊地本部長より、チャレンジカップ第1戦鹿沢大会から、携帯電話サイトにポイントリスト、エントリーリスト、2本目リスト、リザルト等の試験的掲載を開始し、正式稼動すれば、紙によるリザルト配付を行わなくてすむとの報告があり、了承された。

④県総体の休止について

菊地本部長より、県教育委員会から別添資料のとおり県総体休止の正式通知があったことが報告され、審議事項で審議することとした。

(2) 審議事項

①アルペン競技会サポートスタッフ登録について

菊地本部長より、別添資料のとおり選手保護者を対象にサポートスタッフを募集し、15名の登録者があり、経費の削減と将来の指導者育成を目的としているとの提案がなされ、審議の結果、承認された。

②モバイルシステム開発謝礼について

菊地本部長より、報告事項③のシステムの開発者井出氏に謝礼5万円を支払いたいとの提案がな

され、一大会あたり約2万円の経費節減につながり、年間では相当な節減効果が期待されるとして、承認された。また、謝金の会計処理については、総務本部と相談の上措置することとした。

③県総体の休止について

菊地本部長より、報告がなされた『県総体の休止』問題について、各理事から次のような意見が交わされ、自主運営で開催を継続する方針を確認した。

各理事の意見

- ・野地副会長：常務会で手作りでも継続することで確認されている。現在は、行政ベースでの決定について通知されただけの状況であり、今年度から選手派遣を中止する市町村もある。
- ・菊地本部長：22年度から休止ということだが、スキーだけは21年度なので実施すること。しかし、平塚市は中止との連絡があった。県の正式通知も1週間前にきたばかりだ。
- ・片専務理事：この理事会でこの問題に対する方針を決定したい。県教育委員会とも議論をしているし、県のほうにもかなり苦情が来ているようだ。県の理事会で説明をして、4月以降休止するが、教育委員会としてどういう援助ができるか検討中で、その中身は後援をするか否かということらしい。現在、各市町村にスポーツ課長名の文書が届いたところで、市町村側も混乱している。ここで正式に規模を縮小してでも開催するかどうか決めておく必要がある。
- ・各市の状況は、平塚市は派遣できないと言っている。相模原市は大幅縮小、川崎市は既に縮小が進んでおり現状維持、横浜市は検討中、横須賀市も同じ、藤沢市は今シーズンは現行どおりで来年以降は自主運営でも参加したい方向。
- ・片：自主運営の方向で検討中としてはいかがか。また、今回の県総体の場で各市の意見を聞いてみたい。
- ・菊地：各協会の意見をアンケートしてみてどうか。自主運営で蓋を開けたら何チームも来なかったでは困る。各協会が自主運営でどのくらい参加するか知りたい。
- ・佐藤：各市で市民大会が県総体の予選に位置づけられており、競技の底辺拡大やスキーの普及につながっているので、重要な伏線がある問題である。
- ・山田副会長：国や県から補助金をもらわないと大会ができないというのがそもそもおかしい。何が何でも県総体をやろうという気構えを見せるべき時だと思う。選手が集まらなくなってしまうたら、それはそのとき対処すればいい話だ。そういう情熱をもって事に当たってほしい。
- ・片：そういう方向で行きたい。アンケートをして、データを固めていくと動けなくなってしまう。
- ・菊地：県選手権と兼ねて開催するなどという方向性はいろいろあると思うが。
- ・片：そういった案をいくつか提示する必要がある。
- ・菊地：会場の問題もあるが。
- ・野地：補助金が出る市もあり、自費でくる市もあるが、運営の方法次第で十分可能なので、専務の言った方向でいいと思う。
- ・片：その方向で文書を作って、年内にも各協会へ通知することとしたい。

2) 総務本部（資料：第145回理事会 総務本部）

(1) 報告事項

- ①慶弔関係 顧問 石川嘉吉氏 弔電、生花、香典
元理事 工藤政蔵氏 生花
協賛会員 つるやホテル ご母堂様 弔電

②資金運用状況

金子理事より、11月末預金残高が33,388,742円で、昨年同期より240万円程度多いが、70周年記念事業の収益分を除けばほぼ前年どおりで、全体額が大きいのは積み立て金が一時的に入れられているためとの報告があり、了承された。

③登録状況

荻野理事より、別添資料のと通りの登録状況で、前年同期比で207人減、最終的に前年度比で

5%程度の減となる見込みである。また、有資格者については、現在までに35名の辞退者が出ているとの報告があり、了承された。

④各種委員会

ア) ハンディキャップ委員会

国島理事より、研修会及び北海道行事における賛助会費の協力と茨城県連大仲氏の車山行事視察報告の件について報告があり、了承された。

イ) 北海道委員会

吉野理事より、総勢212人の参加を得て素晴らしい好天気のもと事業実施できたとの報告があり、了承された。

ウ) 広報委員会

安藤理事より、雪上行事取材の再確認とスキーグラフィック社へのリザルト掲載用のデータ送付について依頼があり、了承された。

エ) 70周年記念誌委員会

安藤理事より、11月26日、28日に記念誌を関係者、協賛会員等に発送した。理事は本日、専門委員には行事の中で配付予定との報告があり、了承された。

⑤SAJスキー功労指導員等の認定連絡について

徳本理事より、SAJスキー功労指導員11名、ドクターパトロール1名の認定につきSAJから連絡があったと報告があり、了承された。

⑥神奈川県体育功労者表彰について

徳本理事より、野地澄雄副会長が同表彰を受賞する旨の連絡が神奈川県教育委員会からあり、表彰式は1月9日(土)との報告があり、了承された。

⑦神奈川県総合体育大会の休止について

競技本部審議事項で審議済み

⑧常務会報告

徳本理事より、11月30日に、経費削減・収入増加、県総体の休止問題を議題に開催されたとの報告があり、了承された。

⑨SAKグッズの在庫対応について

上田本部長より、5年前のウェア作成の際に作成したSAKグッズは、売れた代金の1割を収入としていたが、今シーズン及び来シーズンで販売終了し、残った在庫は業者から引き取ることとしたいとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

①今年度一部事業の執行凍結について

上田本部長より、新公益法人移行手続きにかかる経費60万円及び競技本部、教育本部の備品購入費の執行凍結の提案がなされ、承認された。

②SAJデモンストレーター推薦規程について

徳本理事より、別添案のとおり提案がなされ、第3条に「4. 現在、SAJデモンストレーターに認定されている者」を追加することとして、承認された。

3) 教育本部(資料:第145回理事会 教育本部)

(1) 報告事項

木村本部長から、SAK行事(①~⑤)及びSAJ行事(⑥~⑩)、今後の行事予定(⑪)について、別紙資料のとおり報告があり、車山I行事及び北海道行事に対して以下の質疑があった後了承された。

<SAK行事>

①指導員研修会理論・検定員クリニック理論・指導員養成講習会特別理論

日時：11月14日 会場：川崎市教育文化会館

②SAKスノーボード専門委員研修会

日時：11月28日～29日 会場：軽井沢プリンスホテルスキー場

③SAKスノーボード検定員クリニック・スノーボード指導員養成講習会

日時：12月6日 会場：川崎市教育文化会館

④車山I行事（指導員研修会、指導員養成講習会、パトロール専門委員件数会、スノーボード指導者研修会、スノーボード指導員養成講習会）

日時：12月12日～13日 会場：車山高原スキー場

⑤北海道行事（指導者研修会、クリニック、指導員養成講習会、強化トレーニング、県民スキー教室）

日時：12月15日～20日 会場：ルスツ・札幌国際・朝里川スキー場

（質疑）

・野地副会長：車山I行事の閉会式は、出席者が130名くらいと非常に少なく、まじめに出席した人が馬鹿を見ているのではという声があった。皆が出席するような工夫を検討してほしい。

・木村本部長：同感なので対策を検討する。ライセンスを朝返しているのが、理由の一つだが、最も大きな理由は、雪が無いことか。

・山田副会長：歩み寄れるところは、こちらが歩み寄ってもいいと思う。講習を12時に終了し、13時から閉会式ではなく、講習終了でそのまま閉会式というスケジュールも検討してはいかがか。

・佐藤副会長：ライセンスを返さないで足止めをするようなことはしたくない。参加者が残りたいたいと思うような方法を検討されたい。

・片専務理事：北海道行事の最後のアクシデントは、専門委員の一人が立ち入り禁止区域を滑って板を見失った。10名の応援を派遣して事なきをえたが、該当者には自分が徹重注意した。

・山田：立ち入り禁止区域で応援者が怪我をしたら、それこそ大きな問題になるので、注意してほしい。

<SAJ行事>

⑥SAJデモンストレーター合宿①

日時：11月19日～21日 会場：熊の湯スキー場

⑦中央研修会

日時：11月21日～23日 会場：熊の湯スキー場

⑧全国スノーボード技術員研修会

日時：11月22日～24日 会場：軽井沢プリンスホテルスキー場

⑨南関東ブロック研修会（実技）

日時：11月28日～29日 会場：車山高原スキー場

⑩パトロール技術員研修会

日時：12月4日～6日 会場：高天ヶ原スキー場

⑪今後の行事予定

SAK及びSAJ関係の今後の行事予定について別添資料のとおり報告があった。

(2) 審議事項

①SAKスノーボード検定員クリニック・スノーボード指導員養成講習会会場変更について（事後報告）

木村本部長より、別添資料のとおり説明提案がなされ、承認された。

②車山Iスノーボード指導者行事追加講師について

木村本部長より、別添資料のとおり説明提案がなされ、承認された。

③神奈川県スキー技術選手権大会役員選出について

木村本部長より、本行事参加者の減少により派遣役員を再検討し、事後承認としたい。また、参加者数によっては白馬システム（専用電光掲示板）の採用を中止したいとの提案がなされ、参加者数の損益分岐点が180名であることなどが確認され、選手会で白馬システムの不採用を説明すること等で、承認された。

④五竜Iスノーボード行事及び石打スノーボード行事特別講師について

木村本部長より、別添資料のとおり講師依頼したいとの提案がなされ、承認された。

⑤南関東スノーボード技術選手権大会審判員派遣依頼について

木村本部長より、別添資料のとおり4都県に派遣依頼したいとの提案がなされ、承認された。

⑥検定員規程第7条第3項によるA級検定員特別受検について

木村本部長より、別添資料に記載の2名について、SAK専門委員活動に必要なため、同規程による特別受検を認定したいとの提案がなされ、承認された。

⑦スノーボード指導者規程第25条特別合格による指導者資格推薦について

木村本部長より、別添資料に記載の2名について、規程による条件を満たしているとして、推薦したいとの提案がなされ、承認された。

4) 監事意見

内海監事から、第1回目のプレ監査を12月24日（木）17:00から県連事務所で行うので、担当事業の終了している理事は、速やかに書類提出をお願いしたいとの発言があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成22年 1月 10日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印